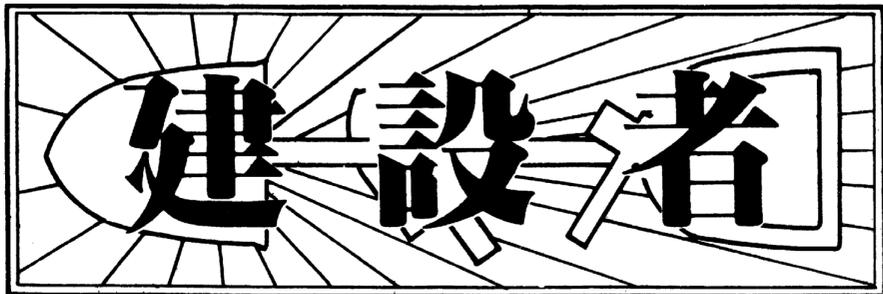


今月の葛飾組織現勢

2017年9月1日	4,611人
加入	43人
転入	3人
脱退	45人
転出	6人
2017年10月1日現在	4,607人



**東京土建一般労働組合
葛飾支部**

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
電話 (5698) 1 2 6 1
FAX (5698) 1 2 6 2
発行人 細貝文洋

秋の拡大月間 成果表

	2017年 1/1付 人員	2017年 10/1付 人員	秋月間 (3.5%)	
			目標	到達
たつみ	526	529	19	1
奥戸	395	397	15	9
本田立石	324	327	11	4
青戸	226	206	8	6
中央	409	401	14	2
堀切	294	283	10	3
西亀有②	94	93	3	1
亀有	253	289	9	4
細田高砂	367	392	13	5
柴又	212	200	7	2
新宿	125	125	4	3
金町	126	108	4	1
東金町	114	114	4	2
北水元	230	217	8	2
幸田	247	266	9	3
水元	428	434	15	4
その他	195	223	7	4
合計	4,565	4607	160	56

2017/9/30 臨時登録時点

**年間実増に手が届く
活動者会議&秋の拡大出陣式**



壇上へ上がって決意表明

対話と交流に重点を

9月10日(日)、テクノプラザかつしかにて、活動者会議と秋の拡大出陣式が行われました。参加者は158人でした。会場は約半年間の改修工事を終えたばかりで、きれいになっていました。

午前は、あいさつのあと、本部の中村専従常任中執より講演がありました。続いて、原水爆禁止世界大会参加者からの報告と、分会から経験報告がありました。それぞれ、中央分会の石井さんが「分会運営」、細田高砂分会の小野瀬さんが「拡大」、水元分会の永井さんが「住宅デー」をテーマに、各分会の状況を話してくれました。

お昼を挟み、午後は基調報告、火災共済と地震共済の推進の訴えを行いました。基調報告は小藤書記長が、これまでの経過と今後の課題について報告と提案をしました。共済の推進については、共済会の作成した地震共済のDVD



看板を掲げ、職人に声を

立石駅で職人へアンケート

拡大行動で、新しい取り組みを始めた本日立石分会。最寄り駅である立石駅で、建設職人向けのアンケートを行い、新規加入者を探る取り組みを始めました。

アンケートは、「東京土建を知っているか」、「現場はどこが多いか」、「職種」、「年齢」、「働き方」の5項目。その場で簡単に答えられるものになっています。答えてくれ



前よりも多く、4349枚が集まりました

東京都宛は4349枚

9月に取り組んだ東京都宛の国保要請ハガキは、みなさんのご協力のおかげで、4349枚となりました。たくさんのご協力、ありがとうございます。

引き続き、財務省宛のハガキにも取り組みますので、1人1シート4枚のご記入へ、ご協力をお願いいたします。

て話し合いをし、区議会議員との懇談等を検討し、区議会への働きかけを強めていくと答えていました。

会場内の入替後、続いて拡大出陣式を行いました。組織部長の土屋さんから秋の拡大について、「実増を目指し、秋の拡大達成に向けて頑張ろう」と話があり、各分会で考えたスローガンを掲げ、秋の拡大への意気込みを見せました。最後は、「ガンバロウ」三唱を行い、秋の拡大月間が本格的にスタートしました。

方には、タオルをプレゼントしました。

初回は8月25日に行いました。この日は9人の組合員が参加し、アンケートには7人の人が答えてくれました。答えてもらっているときに話を聞くこともできて、得るものは多いとの感想でした。分会長の林さんは、今後も継続的に取り組むと意欲を見せていました。

寅さん

ハッピーマンデー法が施行されるまで、10月10日は体育の日だった。この日は、1964年の東京オリンピックに由来する。さらに、晴れの特別日と呼ばれ、晴れる確率が最も高い日でもある。そのため、10月は運動会や体育祭を行う学校も多く、練習に励む声が聞こえてくる。

同じく、街中に響くのは、選挙に向けた活動だろうか。駅前での活動や宣伝カーが走るなどが見られる。

9月末、安倍首相の解散の言葉に納得できた人は少ないと思う。国民が納得できるような説明をするとは口ばかりで、聞いた人が納得する説明もなく、その場を切り抜ける言葉を重ねただけのように聞こえる。森友学園については、当事者の昭恵夫人を出さず、安倍首相が確認し潔白を説明しているのに、本人が証人喚問に出る必要はないという。当事者の口から語られない証明ほど空々しいものもない。隠したいこと、追及されたくないことがある。解散をやむやみにしたい。そう受け止める人は多いだろう。自民党内部からも批判があるならば、一層そう思う。都合よく乱用しているように見える。だからこそ、首相の解散権に制限を設けよう、という話も浮上したのである。確かに、自分の都合で解散をされ、政治の空白期間を作られても困る。秋空の爽やかさを見習って、聞き手をすっきりさせる説明をもらえたらと思う。

美味しく楽しく交流

秋の拡大中間決起・BBQ

10月1日(日)、葛飾支部会館の駐車場を利用し、中間決起BBQ交流会を開催しました。開始は1時からでした。

が、10時半頃から会場には人が来ていました。お肉はもちろんですが、目はホタテとサンマ。復興支



役員が中心となって、肉やホタテを焼いて振る舞いました

援で訪れている気仙沼市から送ってもらった新鮮なものを焼いて出しました。焼き上がりを待つ人が列を作るほどでした。昨年参加した人からは、今年もホタテがあると喜ばれました。

今回、気仙沼から取り寄せたものは他にもありました。気仙沼名物のハローモニカです。メカジキの背びれの部分なのですが、こちらの煮つけを懇意にしているお店の方から送ってもらいました。やわらかく煮付けてあるため、身がすぐほぐれます。ちょっと見た目が悪いと躊躇う人もいましたが、食べた人は美味しいと言っていました。

美味しいお肉と海鮮でお腹がいっぱいになった頃、抽選会を行いました。拡大の中間決起ですので、抽選前にまずは拡大について訴えました。拡大行動日についても顔を出不さない人達も多く参加して

り、そうした組合員の人達に拡大を知ってもらいたい機会になりました。

本田立石分会と水元分会から持ち寄りがありました。組合員拡大が進んだことに、会場が湧きました。

抽選会では、抽選箱の前に座り込み、呼ばれる番号に一喜一憂する子どもたちの姿が印象的でした。委員長賞のメロンの時には、手を合わせて祈る子どももいました。どの子も楽しんでくれたようで、「来年もやるなら、絶対来る」と話してくれる子どももいました。

家族と参加する人が多くいた交流の深まる中間決起となりました。

支部 安全大会

元気で働くために



9月26日(火)、支部会館3階にて、安全大会を開催しました。産業対策部を担当する分会の役員の方々の中心に呼びかけ、24人が参加しました。

10月1日から7日は全国労働衛生週間です。その準備期間が9月となってい

ます。それに合わせ、葛飾支部でも安全大会を開くことになりました。

講師は、向島労働基準監督署安全衛生課の並木泰昌さんです。建設業における防災事故の一覧や実際の事例等の資料を見ながら、説明を受けました。業界別で見ると、やはり建設業の防災事故は多い方になります。前年と比べ、事故の件数も増えており、注意が必要です。事故の内容で多いのは、「墜落・転落」です。事故を防ぐために、けがを軽くするために、フルハーネス型安全帯も利用を勧めました。事故を起こさない心がけを、改めて考える内容のお話でした。

資料を見ながら、話を聞いていました

9月25日(月)、青戸のシニア活動支援センター5階で、公契約条例制定に向けた学習会を開催しました。葛飾区労働組合総連合、葛飾地区労働組合協議会、葛飾区職員労働組合、東京土建一般労働組合葛飾支部の4つの労働組合が主催となり、行われたものです。土建からは、14人が参加しました。

区役所や区議会議員へも理解を深めて欲しいと案内を送りました。今回は、葛飾区契約管財課の方や区議の三小田さんと水摩さんが今回の学習会へ参加してくれました。

これまで、葛飾区での公契約条例制定に向けて、学習会を開催したり、月に一度役所の前で宣伝行動をしたり、事業所への訪問を行ったりと葛飾支部では運動を行って来ます。7月28日の対区交渉の回答では、「公契約条例は、研

土建の共済制度を利用しよう

東京土建では、組合員の生活を支えられるよう各種の共済や保険を用意しています。今回はその制度をご紹介します。

火災共済と地震共済

組合員の助け合いから生まれた火災共済は、掛金の安さと給付のよさが魅力です。

焼破損の割合が66%で全焼となり、給付がおります。自然災害も、被害状況に応じた給付があります。

掛金は、木造家屋が500

万円の補償(50口)で、年間3000円です。鉄筋の場合は、年間1500円。

火災は建物の補償と持ち物(家財)の補償があり、両方掛けるのがオススメ。生活を立て直すには、家を建て直す補償と衣服などを買い揃える補償が必要だからです。

火災だけでなく、新たに始まった地震共済。こちらは火災共済のオプションとして始まり、加入している火災共済の口数に応じて加入ができません。こちらも安い掛金でしっかりした補償内容です。

自転車保険は年間4500円

給付については、自治体の発行する罹災証明書を元に給付が決定します。罹災証明書の発行が遅れている場合には、一時金が支払われます。

更新の際には、補償内容の見直しと共に、どげん火災共済、どげん地震共済と比べてみてはいかがでしょうか。

最近、目にする機会が増えた自転車の事故。自分が自転車に乗っていた誰かによつ

り、被害に遭うこともあります。反対に、自分が自転車に乗っていて加害者になることもあります。そうした自転車による事故に備えて、自転車保険にご加入を。

土建の自転車保険は4500円で、家族全員を補償します。また、他の人をけがさせてしまったり、持ち物を壊してしまったりしたときには、示談交渉サービスつきで日常賠償保険で1億円の補償もついています。

通勤通学で自転車を使う家族がいる人は、安心の補償と安い保険料の土建の自転車保険に加入しませんか。詳細は支部までお問合せください。

公契約条例学習会

制定に向け団結を



4労組からたくさんの方が集まりました。各労働組合の運動に繋がる話であり、真剣に聞いていました

9月25日(月)、青戸のシニア活動支援センター5階で、公契約条例制定に向けた学習会を開催しました。葛飾区労働組合総連合、葛飾地区労働組合協議会、葛飾区職員労働組合、東京土建一般労働組合葛飾支部の4つの労働組合が主催となり、行われたものです。土建からは、14人が参加しました。

区役所や区議会議員へも理解を深めて欲しいと案内を送りました。今回は、葛飾区契約管財課の方や区議の三小田さんと水摩さんが今回の学習会へ参加してくれました。

これまで、葛飾区での公契約条例制定に向けて、学習会を開催したり、月に一度役所の前で宣伝行動をしたり、事業所への訪問を行ったりと葛飾支部では運動を行って来ます。7月28日の対区交渉の回答では、「公契約条例は、研

究・検討段階である」との答えが返ってきています。

公契約条例は区の仕事を請け負う多くの人の利益となるものであり、その理解を深めるため、今回の学習会が開催されました。

講師は、永山利和さんです。日大の元教授で、世田谷区の公契約条例制定と制定後の運用にも関わった方です。現在の公共工事の契約関係の問題点、公契約条例制定により自治体に求められる変化、実行性の担保など、実際に制定に携わった世田谷区の状態を交えながら、お話いただきました。

質疑では、他自治体の状況への質問が出ました。中央区、文京区、目黒区などで動きがあり、目黒区では制定が確実という答えでした。

実際の制定に向けた、深い内容の学習会でした。

職人の仕事を体験

中学生職業体験学習

9月11日から15日の間、葛美中学校から3人の生徒が、職業体験授業に来ていました。技術対策部長の片岡さんに今年も協力いただき、実際の木工仕事を体験してもらいました。

今回、職業体験に来てくれたのは、2年生の遠藤くん、假屋くん、根本くんの3人です。4人が来る予定でしたが、1人が熱中症にかかってしまったため、急遽3人に減ってしまいました。

の職業体験が第一希望ではなかったそうです。それでも、5日間真面目に楽しく職業体験をしていました。

道具と体の使い方を知る

初日の午前中は、片岡工務店で大工道具の説明を受けました。「大工は道具がないと何も出来ない」と話しながら、のこぎり、玄翁、ノミなどを見せてくれました。また、大工道具を作る職人について話を聞くと、3人も大工

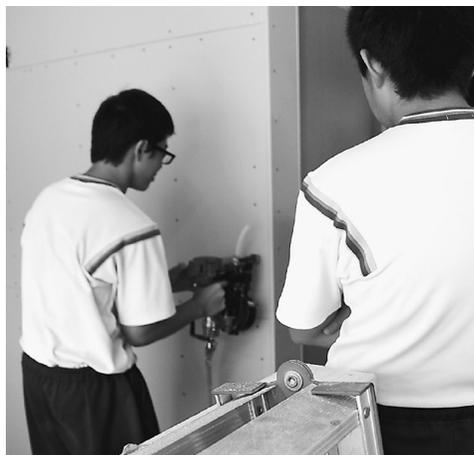
いても、雑誌を広げて説明し、量産されている市販品と職人の手作りの違いや使い心地など話してくれました。

午後には、近所で作業している現場があったので、そこらを見学しに。あらかたの形は出来ており、内装に取り掛かっている状態でした。むき出しになっている断熱材に触れたり、家具も壁紙も無い室内に興味深く眺めたりしていました。せっかくなのでビス打ちに挑戦しますが、うまく打てません。コツのいる作業に苦戦していました。

2日目からは、葛飾支部会館3階で作業です。

取り組んだのは、昨年も利用した建前の材料を短くすることです。のこぎりやノミなど、扱いに気をつけなければ、けがに繋がります。生徒たちの様子を細やかに見ながら、片岡さんが注意をしていました。昨年も見えていたのですが、作業のしやすさまでは考えが及ばないのか、体の使い方があまり上手ではない様子。腕が動かしにくそうだったり、けがにつながりそうだったり、初めての道具を危うげに使う姿にひやひやしてしまいました。

最終日の5日目は、加工した材料を使っての建て方です。午前中はまだ残っていた材料の加工をしていました。のこぎりでの作業にだんだん



ビス打ちは体重の掛け方が難しい

ケースを開けて、中から取り出して、展示された道具について一つずつ説明をしてきました。

と疲労が見え始めると、片岡さんが息抜きを兼ねて、支部の1階にあるガラスケースの前へ。ここでは、職人の道具が展示されています。ガラス

がらの作業です。コンパクトになったおかげで脚立に乗って作業ができて、短い時間で完成しました。ただ、出来上がりが小さく少タイムパクトに欠けるところもありましたが、完成時には歓声が上がりました。記念撮影後は、解体をして、きれいに片付けてから、終了。職人の仕事に興味を持ってその道に進んでくれたら一番嬉しいですが、感想を聞くとなかなか難しいそうです。今回の職業体験を通し、少しでも建設業の仕事を知ってもらえたらいいと思います。

自治会発足を祝して

東北復興支援住宅デー



青空の下、上棟式にはたくさんの方が参加しました

第5回目となる東北復興支援住宅デーを、9月3日(日)に気仙沼市内で開催しました。今年も、新しく住宅が建てられ、被災した方々が移住

した地域で開催をしました。一番心配だったのは天気。台風が近づいているというところで、天気予報では雨の表示が連日続いています。しか



テントを張って、休憩スペースを用意

当日はきれいな会場で開催ができました。近隣の住民の方や社会福祉協議会にご協力いただき、大勢の方が来場しました。有志の方々の支援により、お祝いとして来場者へくじ引きも用意。用意するお菓子は増やし、お餅は

自治会発足を盛大にお祝い

今回の開催地は気仙沼市松崎鶴巻地区です。毎回、気仙沼市で開催はしていますが、開催所は毎年違います。こちらでは、9月16日に鶴巻二区自治会が新たに発足します。葛飾支部が開催する住宅デーを前祝として行いたいと社会福祉協議会より要望があり、開催することになりました。

今回の会場は、ベンチがあるだけの広場でした。広いので、休憩できるスペースも用意し、来場した人が長く居られるよう工夫しました。事前の下見で、気になっていたのが雑草。好き放題に伸びている雑草をきれいにする必要がありますが、前日から会場に向かっていた人達で草取りをしてくれました。おかげで、

当日はきれいな会場で開催ができました。近隣の住民の方や社会福祉協議会にご協力いただき、大勢の方が来場しました。有志の方々の支援により、お祝いとして来場者へくじ引きも用意。用意するお菓子は増やし、お餅は

楽しい夏休みの思い出 夏休み子ども工作教室



8月26日、西奥戸児童館で奥戸分会の工作教室を行いました。奥戸分会は、毎年児童館や地元の子も会などからの依頼があり、7月下旬から8月までの夏休み期間に4回の工作教室を地域で開催しています。どこへ行っても、工作教室を楽しみにしているように、たくさん子どもたちが来てくれます。よほど好きなのか、中には、各児童館の

工作教室を渡り歩いて参加する子もいます。

用意してあるのは、本立て、プリンター、銅板の定番のほか独自の工作の「ゴム鉄砲」。こちらは下拵えが必要で準備に手間がかかりますが、どこへ行っても、男女問わず人気です。今回は特に盛況で、この日のために用意しておいた25個は、きれいになくなりました。

開始の時間前から、子どもたちが部屋の入り口で待っています。そのため、開始時刻になると一斉に作り始めることに。指導員も大変ですが、仕上げの担当者も大忙しでした。仕上げを待つ子どもたちが、列を成して待ち、職人の仕事をじっと見ていました。慌しかったその分、持ち込んだ材料も早々になくなり、予定していた終了時刻より早めに終わりました。

新人書記紹介／大崎趣理さん



大崎趣理さん

はじめまして、8月から本採用になった大崎趣理と申します。葛飾支部で、専門部は厚生文化部、担当業務は共済、担当分会は柴又分会です。出身地は千葉県、趣味は温泉巡りです。お気に入りの温泉は少し遠いですが、長野県の白川温泉です。自然に囲まれている、癒されるのもいい場所です。

5月に仮採用になり、拡大行動をはじめ、大変だなあと思う部分もありました。しかし、組合員のみならず支部の方に言葉を掛けていただき、支えていただくことで頑張ろうと思うことができました。

春の拡大では、思うように行動ができなかったり、実務での説明がうまくできなかったり、みなさんに色々迷惑を掛けてしまいました。

秋の拡大月間では、しっかりと存在感を示せるように努力していきたいと思えます。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

参加しませんか？

東京土建では、秋に様々なイベントを開催します。興味のあるものがあれば、参加してみませんか。

詳細は支部までお問合せください。

○本部70周年イベント
日時：11月12日(日)
10時開会

○ウォーキング大会
日時：10月29日(日)
9時30分

場所：よみうりランド
EAST跡地駐車場

場所：水元公園
申込締切：10月23日(月)
5km程度の距離を歩きまわります。参加賞とお弁当つきです。

申込締切：10月31日(火)
模擬店等を出店やステージでの催し等もあります。よみうりランド内で遊ぶことも出来ます。交通に関しては、バスもありますので、詳細はチラシをご覧ください。

○土建GOGO若手交流会
日時：11月5日(日)
11時～14時

場所：曳舟川親水公園
(お花茶屋駅そば)

○土建GOGO若手交流会
日時：11月5日(日)
11時～14時

場所：曳舟川親水公園
(お花茶屋駅そば)

○土建GOGO若手交流会
日時：11月5日(日)
11時～14時

場所：曳舟川親水公園
(お花茶屋駅そば)

場所：支部会館

職人の技をみられるコーナーや模擬店を行います。

女性のつどい 貧困へのとりくみ



9月16日(土)支部会館にて「女性のつどい」を、70人が参加して行われました。

天気予報は雨でしたが、降られずに終わりました。

折笠会長のあいさつ後、本部役員と後藤支部委員長から激励のあいさつをいただきました。第一部には学習会を行いテーマは「見えにくい貧困、地域での取り

休憩をはさんで第2部には、恒例「ミニ手芸教室」を行い今回はカップスリッパを作成しました。フェルト生地を使って紙コップに巻きつけるようにして、後は花柄やテープ類を好きな場所にデコレーションするなど、みんなでワイワイとしゃべりながら完成させました。

閉会ではこれも恒例となった、後藤委員長より「団結がんばろう」で無事終了となりました。

税金経営対策部

増税への対応を要請

【税金経営対策部】9月13日午後、自民党・平沢勝栄衆議院議員の立石事務所

に阿久津税金経営対策部長と担当書記にて訪問しました。事務所秘書の方に「消費税・所得税増税、消費税の的確請求方式実施に慎重な対応を求める要請書」を議員本人に渡すよう要請して

きました。

主な要請として

①さらなる消費税増税をしないでください。
②消費税の経理方法は小零細事業所が取引から排除されない仕組みにしてください。

③中低所得者に対する所得増税をしないでください。
という項目でした。

税率8%への消費税増税から約3年が経過しましたが、景気回復の実感はなく消費税の負担感だけが増えています。

また、建設業においても設計労務単価が2013年以降上がっていますが、現状では現場で働く従事者の賃金・単価は回復には程遠い状況です。その中で消費税が10%に増税されれば景気が悪化することは明らかであり、税金経営対策部として引き続き消費税増税中止など活動を継続していきます。